

桜竹梅

平成31年 春号



発行所 医療法人 仁栄会
〒780-0066
高知県高知市比島町4丁目6番22号
TEL 088-823-2285
FAX 088-824-2363
発行者 島津 栄一
ホームページ
<http://www.shimazuhp.jp/>



ご挨拶

理事長 島津 栄一



今年の冬は暖かく、寒い思いをする日も少なく、高齢者には有難かった。

病院の南の駐車場にはツバキカンザクラが満開で、玄関横には昨年2月に移植した梅にピンクや白の花が咲いています。

「思いのまま」と名付けられた品種で、1輪ごとに白やピンクの異なる色の花をつける梅です。70年位前に父が大方町の畑の隅に植えていたのを20年位前、正連寺の山に運んできた内の1本です。育ててみると花が美しい上にたくさん実を付けるのが面白く病院に移植したのでした。家の庭には南高梅が咲き誇っています。



小生は生来健康で病で寝込むことも無かったが、75才過ぎからは歳は勝てず入院することも多くなりました。

75才の12月、県の職員に促されて山の境界を見に行った時転倒して頭部を打ち、それが原因で硬膜下血腫を合併し1月に穿頭術を受けました。脳圧が亢進し気分が悪く嘔気が強かったのに、局所麻酔の手術だったので、術後はすぐに気分が良くなり、食べた寿司の美味しかったこと。忘れられません。

79才5月、もともとあった胆石がだんだん増えて胆のう内に充満してきたので、腹腔鏡下に胆のう摘出術を受けました。全身麻酔での手術は初めてでしたが術後の痛みもなく楽でした。翌日には退院させていただき、日常の生活に戻りました。

ゴルフが好きで週2回位はラウンドしていましたが、75才位頃より腰・股関節痛に悩まされるようになり間歇跛行も出現し、遂にゴルフも出来なくなりました。夜中に下肢痛のため目が覚めるようになり、いろいろ迷いはあったのですが手術を決断しました。

12月12日医療センターに入院し14日手術。手術当日麻酔覚醒後は激痛で、2日目も鎮痛剤の点滴によりほとんど眠っていました。3日目より内服の鎮痛剤に変わり腰の痛みは強かったのですが、毎に痛みはやすらいで立ち居振る舞いが楽になりました。筋力は残っていたのでリハビリは楽にでき、25日に退院しました。

痛みがなく歩けることの嬉しさ。間歇跛行の原因になっていた股関節の痛みも消え、毎日運動しています。今ではツルハシをふって、畑を耕す事も可能になりました。このように良くなるのであればもっと早く手術するのだったと思うとともに、手術してくれた先生方に深く感謝しています。

元気になり四万十市まで運転しながら幡多病院に通っていますが、これから5年経てば佐賀～大方間を残すのみで高知～宿毛まで高速道路がつながります。

その頃まで呆けずに運転ができていたらどんなに幸せだろうと思う今日この頃です。



グループホーム やすらぎ

☆クリスマス会



ボランティアの方が来てくださりフルーツ、ピアノの演奏を聴きました。又、サンタクロースと赤鼻のトナカイが登場しクリスマスの歌を唄い、記念写真を撮りました。その後、クリスマスケーキを美味しく頂きました。

☆初詣



清川神社に初詣に行ってきました。無事に参拝でき新しい年を迎えることができました。外は寒かったですが「気持ち良かった」と言われる利用者様もおられました。

☆節分



入居者様と一緒に作った特製の「新聞豆」を手に『赤鬼・青鬼』に「鬼は外！」の掛け声とともに鬼退治を行いました。今年一年の健康や幸福を祈って楽しく笑顔で節分行事を行うことが出来ました。



2月17日日曜日、高知龍馬マラソン2019が開催されました。

今回、龍馬マラソン42.195kmに参加するのは島津病院、臨床工学科から（写真の右から順に）松田技士長、斧武志主任、坂東さん、谷の以上4名が参加しました。その日は天候に恵まれ、最高のマラソン日和でした。

僕以外の3名は、龍馬マラソンを完走している経験者です。そんな中、僕だけが初挑戦の龍馬マラソンでした。なぜ、フルマラソンに参加したかといいますと、先輩の坂東さんからこんな言葉を聞いたからです。「去年はほとんど練習してないけど完走できたでえ～」と、それなら若くて体力のある僕なら余裕で完走できるんじゃないか？これが参加した経緯です。甘い考えで応募していました。そのことを、松田技士長、斧主任に話したところ、同じ一言をもらいました。

「フルマラソンなめすぎ」先輩方からの言葉は重かったです。

そしてマラソン当日、参加者約12000人！城西公園に皆集合でしたが、満員電車のように人があふれていました。当日、人ごみの多さから4人で集まって集合写真を撮ることも苦労しました。参加者が多く先頭から、S、A、B、C、D、E、F、Gとスタート地点がブロックごとに分けられていて、僕はFブロックでした。9時からスタートし、Fブロックのスタート地点から、県庁前のスタート位置（本来のスタート地点）に辿りつくのになんと10分かかりました。走り始めて10kmを過ぎ、練習でこれ以上は走ったこと無かったので、どうなるかと思いましたが、順調に20km地点の浦戸大橋まで到達しました。本番でのアドレナリンが出ていて走れているのもありますが、何よりずっと走っていて応援がつかない！頑張れの声援、ハイタッチ、吹奏楽の演奏で、普段出せない力をもらいました。

これなら3人に追いつくかも！？それから海岸沿いを走っていましたが、ここで異常が。足が痛くなり、さらに続けて走ったらつりそうだったので走ることがほとんど出来



なくなり、歩きだしました。まだ、体力的には走れたんです！ 本当に！ だけど足が・・・。

3人には到底追いつけることもなく、歩くことしかできない僕は、給水場に着いてはバナナ、パン、カツオ飯、みかん、コーラとあらゆるものを食らいつきながらゴールを目指し、初挑戦ながら42.195kmという長い道のりを完走することができました。完走した時の達成感は今まで味わったことのないくらい最高なものでした。

みんな気になるそのタイムは！！

「5時間39分43秒」 男子総合では6261位/10196人中でした。

松田技士長「5時間20分47秒」 斧主任「5時間15分30秒」 坂東さん「5時間3分15秒」

自分の予想では、5時間ちょっとで完走できると思っていたのに！ 悔しい、悔しい！

次回！！ 5時間きります。決めました。来年も出ます！！

これを機にこれからもいろんなマラソン大会に出ていきたいです。皆さんもランニングしてみてはいかがでしょうか。



書籍
紹介

森 惟明 編著

『サクセスフルエイジングへと
導く50の答え』

発行：幻冬舎メディアコンサルティング

ISBN978-4-344-91485-8

C2040 ¥1200E

定価(本体1200円+税)

発行：幻冬舎メディアコンサルティング

発売：幻冬舎



9784344914858



1922040012005

編者
● 森 惟明
● 梶川 博
● 梶川 咸子
サクセスフルエイジングへと導く50の答え

森 惟明

編者

梶川 博

梶川 咸子

著

サクセスフル
エイジングへと
導く50の答え幻冬舎
MM

「物忘れするのは認知症？」

「めまいがするのは悪い病気？」

「周りに迷惑をかけて生きるのが心苦しい」

「高齢者が異性を意識するのはおかしい？」

「孫に『おじいちゃんは臭い』と言われる」

こんな悩みもスッキリ解決！

からだ
社会生活の健康
の健康からだ 心ころ 社会生活
の健康が快適な老後のカギ
医師であり高齢者でもある
著者らによるQ&A集幻冬舎
MM幻冬舎
MM

定価(本体1200円+税)

サクセスフル エイジングへと 導く50の答え

Q1 友人は、血圧が高くなったり、がんや認知症が心配になったりして、健康保険で認められていない、いろんな治療や薬を試みています。健康保険で認められない治療法を医療従事者はどのように考えますか？

A 民間療法も自然治癒力を高める作用はあるかもしれないので、すべてを否定することはしませんが、試みる際に注意が必要です。

科学が検証しえた生命の謎はほんの一部であり、まだ膨大な部分が検証されていないので、医師の私たちでも、未知の部分の少なくない補完代替療法(CAM)を否定することはできません。皮肉なことに、西洋医学が発展すればするほど代替療法の種類が増えていくという傾向がみられます。ただし、代替療法の多くは、ある一個人がよくなったという事実が、偶然なのか、あるいは、ある作用によって起こされたのかという科学的な証明が不十分であることが多いので、注意が必要です。

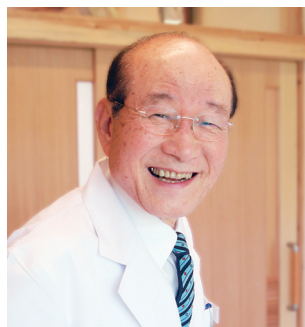
CAMの特徴は、次のようにまとめられます。

- ①西洋医学ほど治療に速効性はないが、副作用は比較的少ない。
- ②患者さんの自然治癒力を高めることにより治療する。
- ③医学的根拠ではなく、経験や独自の世界観によるものが多い。
- ④生活の質(QOL)や日常生活動作(ADL)を高めることを重視。患者さん個々の病状を重視して行う「テーラーメイド医療」。

最近、CAMが医師ならびに医療従事者の間でも広く認知されるようになってきています。CAMには漢方、鍼灸、心理療法、手技療法、サプリメント、カイロプラクティック、整体、気孔など多くの治療法が含まれます。このような療法が多く用いられるようになったのは、慢性疾患、精神的疾患、難治性疾患など西洋医学の力が及びにくい領域が存在するためです。また、西洋医学ではさまざまな不定愁訴がある患者さんに対応することが困難で、このような場合にQOLやADLを高めようとしてCAMが行われます。

現在のところ、CAMの中で唯一、漢方薬には保険診療が認められていて、そのほかの多くの治療法は健康保険の適用外とされています。宗教的な非医学・非医療的行為による治療を受ける人もいます。病気によっては、信じることにより症状の軽快をみたりすることがあるかもしれませんが、このような治療に対しては疑問を抱く必要があります。

高齢者は多病ですから、医療類似行為の対象とされることが多くなりますが、代替治療を受ける前には誰かに相談することが望ましいでしょう。



URL <http://www.geocities.jp/morikoreaki/>

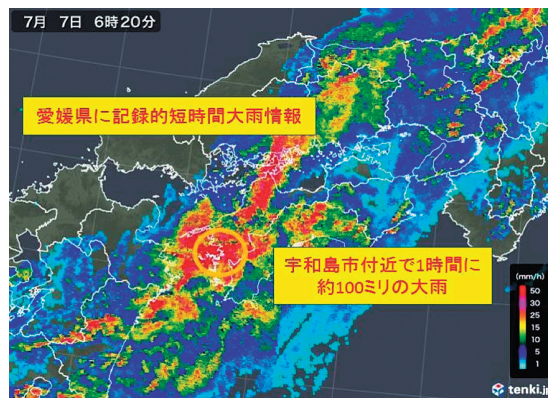
災害ボランティアに行ってきました

リハビリテーション科 科長 田村 実

昨年は地震やら台風やらと天災に見舞われた年でした。高知県でも西部では豪雨災害で土砂崩れなどの被害も起きました。

昨年の九月に、宇和島市の災害ボランティアに参加してきたので、その報告をします。

参加のきっかけは、学生時代の先輩が宇和島でボランティア活動をしているという知らせをSNS（フェイスブック）という掲示板で発見したのが始まりです。その先輩は僕が働き始めてから長らく、全国津々浦々の学会や研修会、毎月大阪や山口へ病院診療見学に行ったことなど、苦楽をともにした先輩で、年はひと回り以上、上になるのですが戦友ともいえる先輩です。そんな先輩が四国西部の豪雨災害で被災され、学会や研修会にあまり来なくなりました。もちろんそれどころではなかったのでしょう。被災直後には連絡を取ったものの、以降は見守ることしかしていませんでしたが、ボランティアの情報を発見し、お見舞いがたら社会貢献に行ってみよう一念発起し、行動に移しました。



宇和島に向かう前日、仕事が終わってからホームセンターをめぐり、ボランティアグッズを購入するところからはじめました。長靴・ヤッケ・軍手などを買い揃え、準備万端。

当日は、朝8時30分にボランティアセンターに向かうということで、朝3時に起きて準備をして出かけました。ですが、あいにくの雨模様。窪川から四万十川を溯上し、宇和島へ向かいました。

宇和島の市街地はあまり被災していないようでしたが、山間部や海岸沿いは山崩れの被害を受けたようで、所々地すべりをおこし、むき出しのスジの入った山々が見えました。そして先輩と合流し、社会福祉協議会のボランティアセンターへと向かいました。歩いて向かいがたら近況をお聞きすると、被災当時はボランティアもたくさんいたようですが、現在はだんだん減ってきたとのことでした。「まあ無理しないようにいこうや」と話しながら進み、いざボランティアセンターに到着し、登録をしようとしたところ、本日のボランティアは松山市からの団体が登録しており、空きがないとのこと、民間のボランティア団体の設営するベースキャンプへ向かいました。倉庫の一画に白板と被災状況の写真が貼ってあるシンプルすぎるくらいの場所に約十名のボランティアさんと思わしき方々がすでにスタンバイしていました。そこでボランティア登録を行い、コーディネーターが司会をしながら、まずは自己紹介が始まりました。みんなそれぞれをニックネームで呼び合うのが慣例のようで、テープにネームを記載して胸に貼布し、「〇〇と呼んでください」と自己紹介するのです。因みに僕は何のイジリも無く「タムラと呼んでください」と腑甲斐無い普通のニックネームにしてしまいました。



皆さん慣れた様な感じで、初心者は僕だけでした。遠くは沖縄、東京からいらっしゃっており、仕事が休みで来た方や、全国をボランティアで回っている方など色々な方が参加していました。そのあと、ボランティア先の状況と仕事内容、注意点の報告があり、軽トラに乗り込み現地へ出発しました。この日に行ったボランティアは、宇和島市の北部にある比較的海からも近い山沿いの民家で、家の近くを流れる小川の谷に、土砂崩れが起きて土砂が家の裏まで迫っている状態でした。再崩落の恐れもあるため、土砂の撤去作業を行うというのが、その日の内容でした。小型ショベルで掻き上げた土砂を、一輪車（通称：ネコ）に載せて、それをダンプカーに積載するという単純な繰り返しの作業でした。谷間の家ということもあり、家の裏にダンプを直接まかせないため、家の横の通路を裏から表に、表から裏にとひたすらネコを突いて往復するのです。またダンプに載せるためにハシゴを駆け上がらなくてはなりません。昔は運動していたので体力には多少自身はありました。しかし、一回り以上年配の先輩が疲れも見せず往復しているのを目の当たり



にすると、疲れなどみせてはなるかと必死で運んでいました。しかし、途中で異変に気がつきました。ネコに載せている土砂の量が違うのです。僕のネコはまるでゴジラの背中のような形なのに、先輩のは、スプーンにすくったミルクコーヒーのようになっているではありませんか！後で聞きましたが、ショベルを扱う人は、作業員のパフォーマンスも観察しているようで、個人によって積載する土砂の量が異なるとのことだったのです。僕の身体は確かに芳醇な油を含んだ、馬車馬ならぬ豚車豚かもしれません。しかし、秘密を知ってしまった僕は少しペースを落として我に返りました。小雨が降るなか、作業は昼まで続き、昼休憩を迎えました。ベースキャンプへいったん戻り、朝に買っておいだ、おにぎりを食べました。すると、ボランティアの支援団体もあるようで、そこで作ったコロツケと唐揚げを、思惑、頂いちゃいました。やっぱり人は支えあいながら共生しているのだなと、人の温もりを感じました。そして午後は一時から四時までの三時間ひたすらネコと走り回りました。終わるころには僕の身体も見違えるほどスリムになり、ネコに積載されている土砂の量も若干スリムになっていました。

怪我も無く無事に終了し、その晩は先輩に宇和島の美味しいお魚とお酒をご馳走になり、ゆっくりとお風呂にも入り、早めの就寝となりました。翌朝にはすっかり復活してしまった僕でした。

以上、ボランティア報告をしましたが、この旅を通じて感じたことは、塵も積もれば山となるといいますか、小さな流れも大河となるといいますか、本当に自分の出来ることは小さなことでしかないことに現実を感じてしまった点と、それでもそれが積み重なることで大きなことが成し遂げられるという大義のような、ある種の使命感を感じました。

これからも医療を通じて皆さんの幸せへの、わずかながらでも一助となれるよう努力を誓うタムラでした。

因みに、一輪でも土砂の運搬には、浅く広いものよりも、幅が狭く深いものが向いています。



外来診察表

(平成31年3月31日現在)

午前(9:00~12:00)

診察科	月	火	水	木	金	土
内科	三宅・大崎(多) 松村	大崎(史)・大崎(多)	三宅・大崎(史)	岩崎泰正(高知大学) 安富	大崎(史)・大崎(多)	三宅・大崎(史)
消化器内科				【第1・第3・第5】 岩崎信二(高知大学)	常風(高知大学)	
外科	島津	酉家(佐)	武田	酉家(佐)	島津	武田
整形外科	島津(裕)	島津(裕)	兼松	兼松	兼松	兼松
脳神経外科	森				森	
泌尿器科 血尿外来						井上(高知大学)
循環器内科		小田(予約制)	小田(予約制)			

午後(14:00~18:00)

診察科	月	火	水	木	金	土
内科	三宅・大崎(史)	大崎(史) 安富 16:00まで	三宅・大崎(史)	三宅 安富 16:00まで	三宅	
消化器内科						
外科	岩部(高知大学)	酉家(佐)	北川(高知大学)	武田	酉家(佐)	
整形外科	島津(裕) (島津)	島津(裕)	兼松	兼松	兼松	
脳神経外科						
泌尿器科 血尿外来						
循環器内科		小田(第1,2,3,4休診) 第5のみ予約制	小田(予約制)			
放射線科				久保田(高知大学) (所見のみ)		

- 三宅院長(内科)は午後から不在の場合がありますので、事前にお電話でご確認をお願いします。
- 担当医が不在の場合がありますので、事前にお電話でご確認をお願いします。
- 休診日は土曜の午後・日曜・祝祭日・年末年始です。

患者様の権利

- 一、個人として常にその人格を尊重される権利があります。
- 二、安全で良質な医療を平等に受ける権利があります。
- 三、個人のプライバシーが守られる権利および私的なことに干渉されない権利があります。
- 四、自分が受ける治療や検査の効果や危険性、他の治療法の有無などについて、わかりやすい説明を理解できるまで受ける権利があります。
- 五、自分の治療計画を立てる過程に参加し、自分の意思を表明し、自ら決定する権利があります。
- 六、自分が受けている医療について、知る権利があります。
- 七、自ら選んだ医療機関で、セカンドオピニオンを受けることができます。
- 八、患者様自らが、医療従事者と共に力をあわせて、これらの権利を守り発展させる責任があります。

医療理念

「病む人への思いやりをもって、安全で安心のできる高度な医療を提供します。」

医療方針

- 一、心ある医療を介護サービスと連携して提供し、地域社会に貢献する。

- 一、生きることへの共感、病む人への思いやりをもって、医療に従事する。

- 一、当院の専門としている医療部門においては、医療レベルの向上に努力し、先進的医療を提供する。

セカンドオピニオンの指針

セカンドオピニオンの前提は、患者様の権利（自己決定と選択自由の権利）の尊重にあり、当院では以下の通りセカンドオピニオンの指針を定めます。

1. 当院にセカンドオピニオンを希望される場合
 - (一) 担当医の紹介状、検査結果、レントゲン写真、病理診断結果等、診断に必要な資料を持参していただきます。
 - (二) 患者さまご本人が受診することが、原則となります。
 - (三) セカンドオピニオンの結果は、患者さまご本人に説明するとともに、紹介状の返書として、担当医にお知らせします。
 - (四) 検査や治療を行わない、相談のみの場合は自費診療として三十分につき一万八千円を申し受けます。
2. 他の医療機関にセカンドオピニオンを希望される場合
 - (一) 受診する医療機関名（できれば医師名）を特定して紹介状を作成します。
 - (二) 検査結果、レントゲン写真、病理組織材料など、診察に必要な資料を提供します。
 - (三) 個人情報保護を考慮し、紹介状と資料は、患者さまご本人にお渡しします。
 - (四) 紹介先が示したセカンドオピニオンは、当院からの紹介状への返書として受け取り、以降の当院での治療方針や検査の選択については、患者さまご本人の意思を尊重し行います。

患者および職員などの個人情報保護に関する規程
【基本理念】

（院内規程の目的）

当院の全職員は、この「院内規程」及び「個人情報の保護に関する法律」「同施行令」厚生労働省「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイドライン」（平成二十九年四月十四日改定）に基づき、患者および職員などに関する個人情報を適切に取り扱い、患者および職員などから信頼される医療機関であるよう、たゆまぬ努力を続けていくものとする。

（他の院内規程等との関係）

当院における個人情報の取り扱いに際しては、この院内規定のほか、当院の「診療情報提供に関する規定」も適用されるものとする。診療情報提供について疑義がある場合には、前段に挙げた規定のほか、日本医師会「診療情報提供に関する指針」ならびに厚生労働省「診療情報提供等に関する指針」も参照するものとする。

（守秘義務）

すべての職員は、その職種の如何を問わず、当院の従業者として、職務上知り得た患者及び職員などの個人情報を、正当な事由なく第三者に漏らしてはならない。当院を退職した後においても同様とする。すべての職員は、この義務を遵守することを書面によって誓約しなくてはならない。



診療時間

月～金 9:00～12:00
 14:00～18:00
 土 9:00～12:00
 日・祝祭日 休診

併設事業

・通所リハビリテーション
 ・居宅介護支援

診療科目

・外科
 ・内科
 ・リウマチ科
 ・糖尿病内科
 ・消化器外科
 ・消化器内科
 ・脳神経外科
 ・泌尿器科
 ・人工透析内科
 ・人工透析外科
 ・腎臓内科
 ・肛門外科
 ・皮膚科
 ・整形外科
 ・循環器内科
 ・リハビリテーション科

関連医療・介護機関

医療法人 仁栄会 島津クリニック	〒785-0013	高知県須崎市西古市町3番15号	TEL.0889-43-0003
医療法人 仁栄会 島津クリニック比島	〒780-0066	高知市比島町2丁目10番31号	TEL.088-826-6230
医療法人 島津会 幡多病院	〒787-0013	高知県四万十市右山天神町10番12号	TEL.0880-34-6211
医療法人 成仁会 快聖クリニック	〒780-8050	高知市鴨部1085番地1	TEL.088-850-0038
グループホーム つくしの里	〒780-8050	高知市鴨部1079番地1	TEL.088-850-0083
グループホーム やすらぎ	〒780-0066	高知市塩田町19番26号	TEL.088-875-3500
グループホーム かがやき	〒787-0014	高知県四万十市駅前町5番20号	TEL.0880-31-0607
小規模多機能型居宅介護 ひじま	〒780-0066	高知市比島町2丁目10番31号	TEL.088-826-6232
小規模多機能型居宅介護 しおた	〒780-0066	高知市塩田町19番26号	TEL.088-875-3718
住宅型有料老人ホーム ひじま	〒780-0066	高知市比島町2丁目10番31号	TEL.088-826-6233
特定施設 みやびの里	〒780-0066	高知市比島町4丁目6番9号	TEL.088-822-8855
小規模多機能型居宅介護 おおがた	〒789-1931	高知県幡多郡黒潮町入野3017番地2号	TEL.0880-43-1023
高齢者専用賃貸住宅 くろしお	〒789-1931	高知県幡多郡黒潮町入野3017番地2号	TEL.0880-43-1023



医療法人 仁栄会

島津病院

院長 三宅 晋

〒780-0066 高知市比島町4丁目6番22号

TEL 088-823-2285 FAX 088-824-2363

